

技術士業務研究会／平成30年2月度例会案内

☆開催日時：平成30年2月9日（金） 18:30～21:00

☆開催場所：大阪科学技術センタービル 601号室

☆講演 演

1. (18:35 ～ 19:25)

【ご講演タイトル】:

『バイオマスによる地方創生と地球温暖化解決への取組』

NPO法人兵庫県技術士会 技術士（機械、環境、総合技術監理） 濱崎 彰弘 氏

【ご講演概要】

NPO 法人兵庫県技術士会では、地域の現状把握、変貌を遂げるエネルギー戦略について、知見を蓄積し、自然資本の地域振興への寄与、ひいては、地球温暖化防止のための施策を提言していくことを目的として2017年4月に「バイオマス利活用推進研究会」を設置しました。IoT、ICT、リモートセンシング、AIなどの新技術をバイオマス利活用に適用することで、エネルギーの地産地消や産業振興により、過疎や高齢化、人材不足などの地域の課題解決につなげ、更には、化石燃料依存から脱して、海や山から得られる豊かな恵みにより、持続可能な社会を実現していくための研究内容をご紹介します。

2. (19:35 ～ 20:55)

【ご講演タイトル】:

『福岡市営地下鉄工事中の道路陥没事故原因の究明と考察』

公益社団法人大阪技術振興協会理事長 技術士（建設、総合技術監理） 岸田 順三 氏

【ご講演概要】

この事故は、平成28年11月8日の未明に地下鉄工事現場で発生、JR博多駅前の周辺に店舗・ビルの立ち並ぶ繁華街で起き、道路陥没の規模は幅27m、長さ30m、深さ15mに及ぶ大規模なものだった。発生原因はいろいろとあり、3方いずれにも判断ミスかが重なったことによるものと思われる。

NATM^{ナトム}というトンネル掘削工法は、日本では導入後まだ30年ほどであるが、地質の悪い日本ではトンネル周辺の計測管理と補助工法を併用して器用に受け入れられていった。今では大都市での施工例が多いが、NATMも「騙し騙し掘る」とことと経験が重視される山岳トンネル技術であることに違いはない。

☆業務研究会連絡事項など

☆例会後、珉珉にて講師を囲んで懇談会を開催予定、有志の方々のご参加を願います。

以上

◇参加費：業務研究会会員は無料、業務研究会会員外は1,000円
◇申 込：2018年2月6日（火）までに下記へお願いします。
懇親会への参加・不参加も合わせてご連絡下さい。
予約なしの飛込み参加も歓迎します。
業務研 HP <https://sites.google.com/site/gyoumuken/>
業務研究会 和田 克利 (gyoumuken@gmail.com)

【講師のご経歴】

濱崎 彰弘 (はまさき あきひろ)

【経歴】

1962年 大阪府豊中市生まれ

1985年 大阪大学基礎工学部化学工学科卒業

1987年 同大学院修士課程修了

1987年から現在まで メーカー勤務

メーカーにてエネルギー、環境関係の研究開発、設計業務に従事する傍ら、学会、技術士会等にてバイオマスによる地球温暖化対策や地域振興等の発表や講演を行う。

所属：(社)日本技術士会 近畿本部登録 環境研究会 幹事 同会 兵庫県支部会員

NPO法人兵庫県技術士会 バイオマス利活用推進研究会 代表幹事

大阪大学銀杏技術士会 幹事 (社)日本エネルギー学会 バイオマス部会会員

岸田 順三 (きしだ じゅんぞう)

【経歴】

出自：

堺市で昭和16年生

最終学歴：昭和40年立命館大学理工学部土木工学科卒

職歴：

昭和40年銭高組入社

平成9年技術士事務所開設

業務歴：

H17年日本技術士会本部理事

協会 (H10年理事, H21年専務理事, H26.8月理事長)

専門分野：

建設・総合技術監理部門/トンネル

以上